ブラケット PJ－2型 取扱説明書

UZ004 保管用

品番 LYQ33 (50Hz)　LYQ34 (60Hz)

お客様へ　お買いあげありがとうございます。
ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。必ず保管してください。

安全に関するご注意

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告　誤った取扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■器具を改造したり、部品交換をしないでください。 火災・感電・落下によるけがの原因となります。 分解禁止	■異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。 工事店、電器店、ご相談センターにご相談ください。

注意　誤った取扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■本体の取りはずしは、工事店、電器店に依頼してください。 本体の取りはずしには資格が必要です。	■点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。 ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。 接触禁止

使用上のご注意

●冬場など周囲の温度が低い場合は、明るくなるまで時間を要したり、点灯直後にちらつきが発生する場合があります。
●電源を入れても点灯しない場合は電源を切り、５秒以上たってから再び電源を入れてください。
　それでも点灯しない場合は、ランプが切れていないか、ランプが正しく取付いているか、確認してください。

この器具の使いかた　用途に合わせて設定を行ってください。

お買い求めの照明器具は以下の３つのモードのいずれかを選んで使用することができます。

ＯＮ／ＯＦＦモード　――→３ページへ
昼間は消灯→周囲が暗くなって人が近づいたときのみ１００％の明るさでパッと点灯

お出迎えモード　――→４ページへ
昼間は消灯→周囲が暗くなると１００％の明るさで点灯（お出迎え点灯）→設定時間以降は周囲が暗くても消灯→しかし人が近づくと１００％の明るさでパッと点灯

連続点灯モード　――→５ページへ
周囲が明るくても暗くても常に１００％の明るさで点灯

各部のなまえ

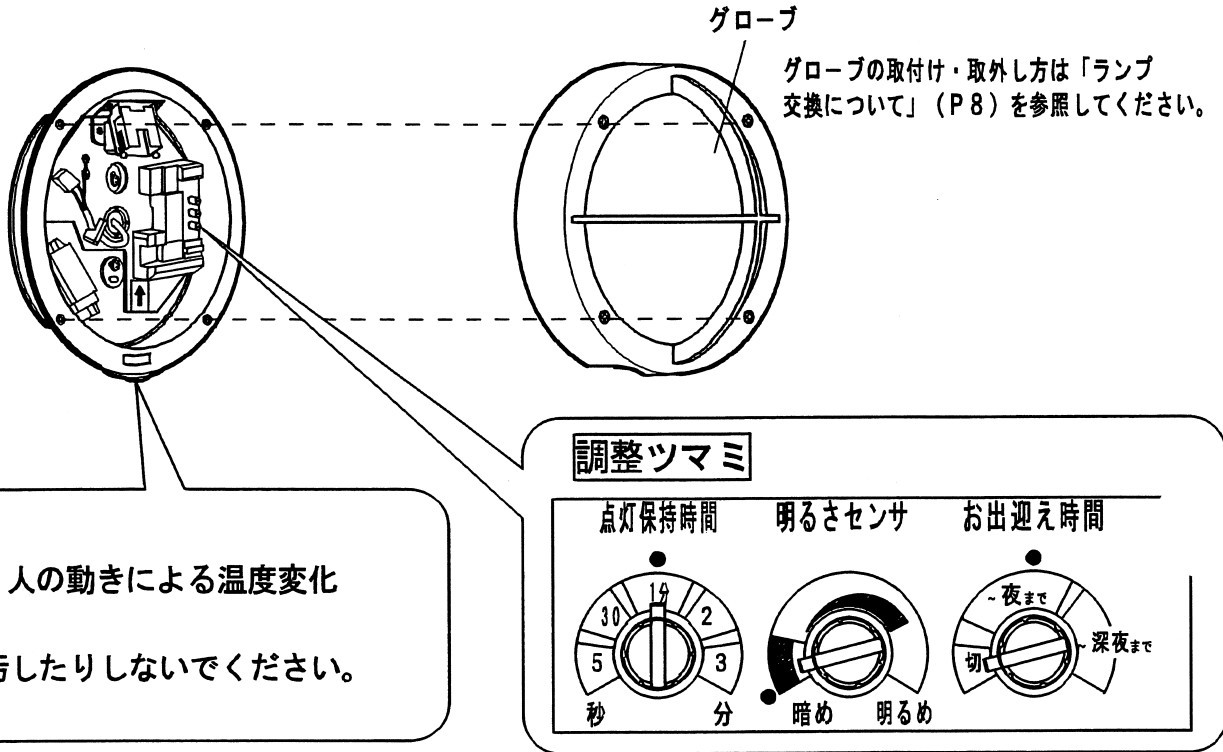
グローブ

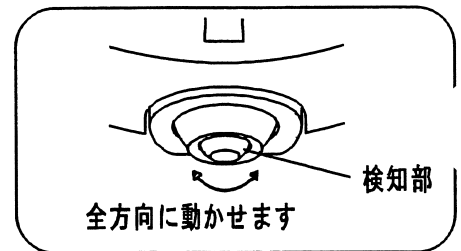
グローブの取付け・取外し方は「ランプ交換について」（P８）を参照してください。

調整ツマミ

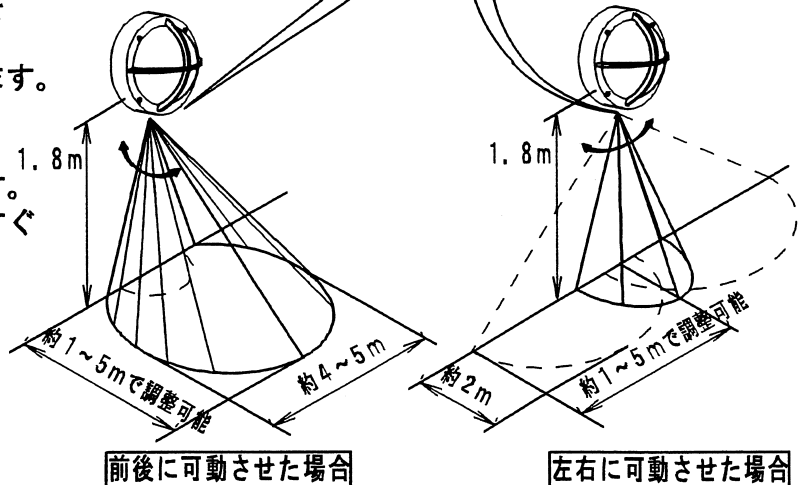
点灯保持時間	明るさセンサ	お出迎え時間
5　30　1　2　3 秒　分	暗め　明るめ	切　～夜まで　～深夜まで

検知部

周囲の明るさ，人の動きによる温度変化を検知します。
傷つけたり，汚したりしないでください。

検知範囲について

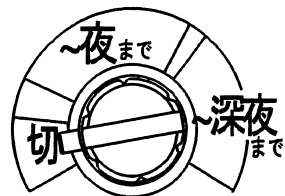
・検知部は全方向に自由に動かせます。
・検知部を動かすことによって検知範囲を変えることができます。
・検知範囲は下図のような範囲で調整できます。
・検知部を動かしてお好みの検知範囲を設定してください。

注）・本センサは人の動きなどの温度変化分を検知するため、人以外の熱源（動物等）が移動したときも検知する場合があります。
・検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、人の温度、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。
・センサの性能上、器具に向かってまっすぐに接近した場合は、より近づかないと検知しない場合がありますが故障ではありません。

前後に可動させた場合

左右に可動させた場合

ON／OFFモードで使用する時

モードの説明については「この器具の使いかた」（P1）をご覧ください。

1　壁スイッチをOFFにする。

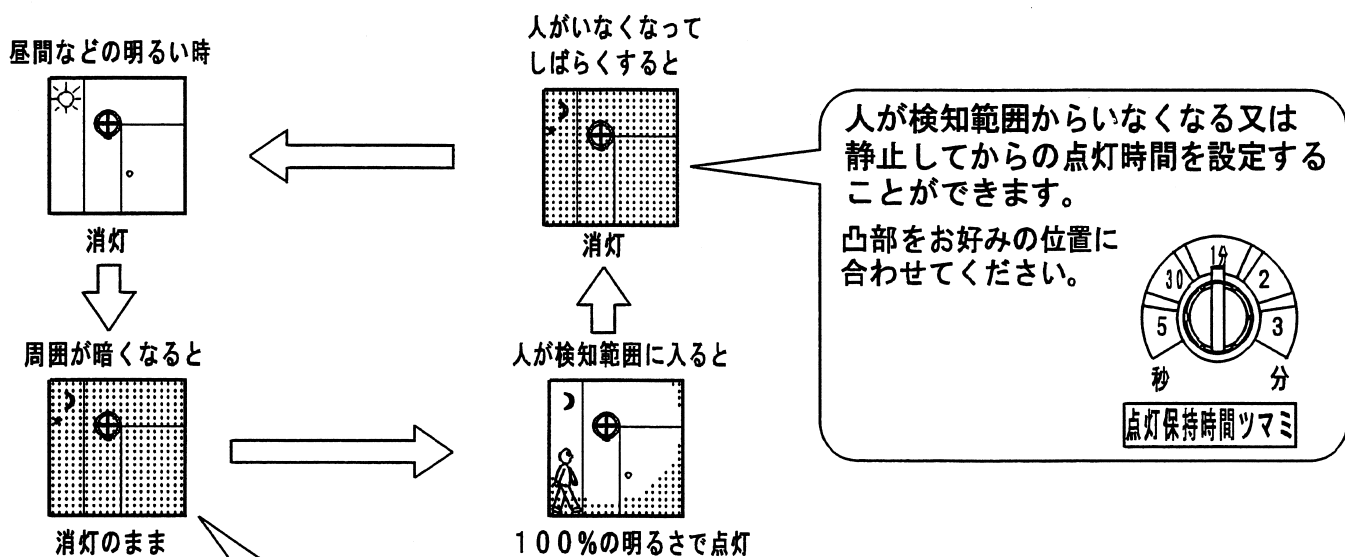
2　グローブを取外して（P8「ランプ交換について」参照）お出迎え時間ツマミを「切」に合わせる。

お出迎え時間ツマミ

3　調整ツマミを回し、センサーのはたらき始める周りの明るさ、点灯時間を設定し、グローブを取付ける（P8「ランプ交換について」参照）。

＜ON／OFFモードにしたときの動作＞

昼間などの明るい時　消灯
周囲が暗くなると　消灯のまま
人が検知範囲に入ると　100％の明るさで点灯
人がいなくなってしばらくすると　消灯

人が検知範囲からいなくなる又は静止してからの点灯時間を設定することができます。
凸部をお好みの位置に合わせてください。

5　30　1　2　3
秒　分
点灯保持時間ツマミ

センサがはたらき始める周りの明るさを設定できます。
「明るめ」側（右方向）に回すと、明るい昼間から動作するようになります。
凸部をお好みの位置に合わせてください。

暗め　明るめ
明るさセンサツマミ

4　壁スイッチをONにする。
注1）壁スイッチをONにした直後（約30秒間）は、ランプが点灯しますが異常ではありません。

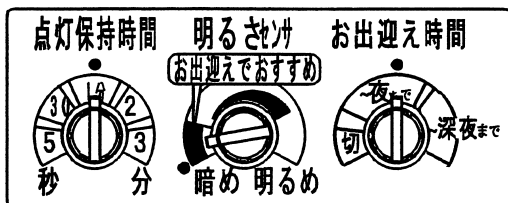
注2）壁スイッチは常にONにした状態でご使用ください。

お出迎えモードで使用する時

モードの説明については「この器具の使いかた」（P1）をご覧ください。

1　壁スイッチをOFFにする。

2　グローブを取外して（P8「ランプ交換について」参照）調整ツマミを回し、
　お出迎え点灯の始まる周りの明るさ、点灯時間、お出迎え点灯の終わる時間を設定する。

＜おすすめの設定＞

- 点灯保持時間を「1分」にする。
- 明るさセンサを「暗め」にする。
- お出迎え時間を「夜まで」にする。

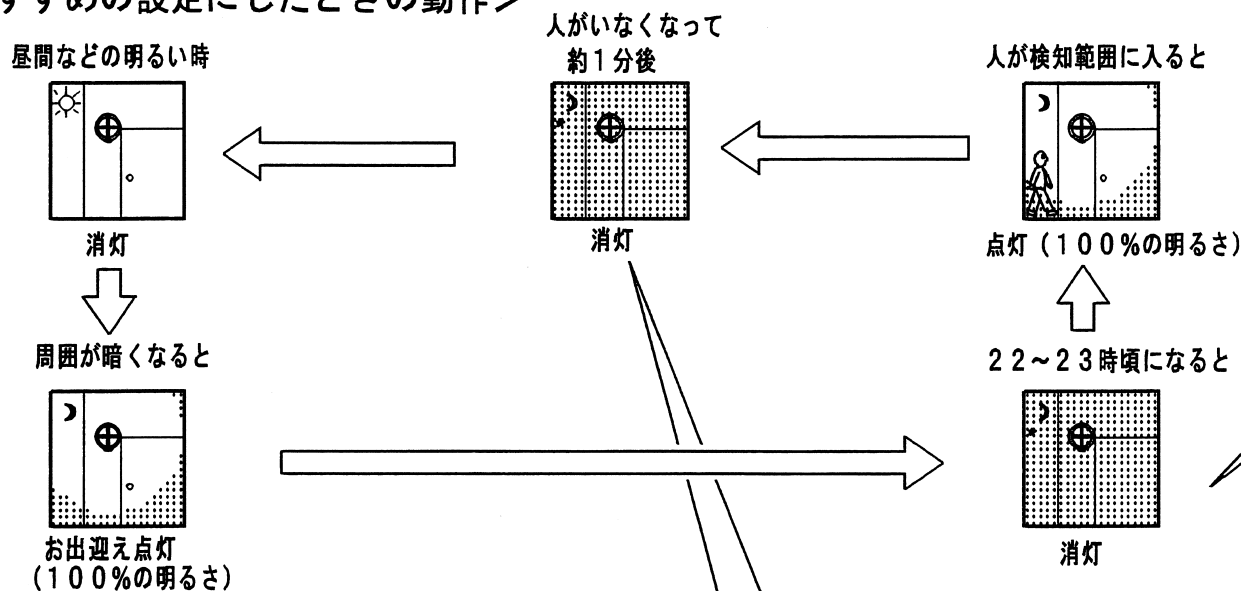
＜おすすめの設定にしたときの動作＞

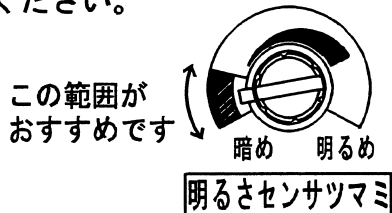
昼間などの明るい時　消灯

周囲が暗くなると　お出迎え点灯（100%の明るさ）

22～23時頃になると　消灯

人が検知範囲に入ると　点灯（100%の明るさ）

人がいなくなって約1分後　消灯

お出迎え点灯が始まる周りの明るさを設定できます。
下図のおすすめの範囲にツマミの凸部を合わせてください。

この範囲がおすすめです　暗め　明るめ
明るさセンサツマミ

人が検知範囲からいなくなる又は静止してからの点灯時間を設定することができます。

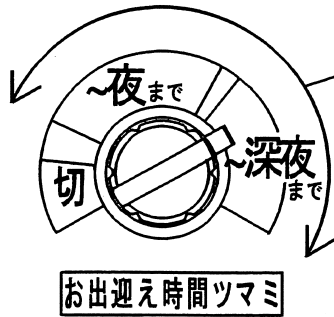
凸部をお好みの位置に合わせてください。
「1分」での使用がおすすめです。

30　1　2　5　3　秒　分
点灯保持時間ツマミ

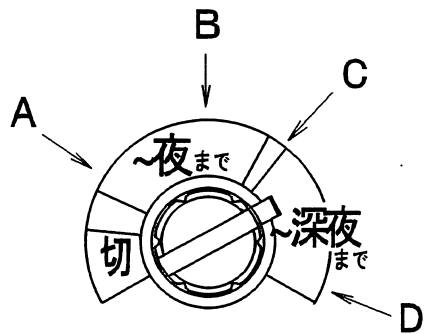
3　グローブを取付け（P8「ランプ交換について」参照）、壁スイッチをONにする。

注1）壁スイッチをONにした直後（約30秒間）は、ランプが点灯しますが
　　異常ではありません。

注2）壁スイッチは常にONにした状態でご使用ください。
　　途中で壁スイッチの操作を行うと、照明器具内部のマイコンがリセットされるため
　　お出迎えモードが正常に働きません。（お出迎え点灯が設定時間通りに終了しません。）

お出迎え点灯が終わる時間を設定することができます。

この範囲で設定してください。
（ツマミの凸部を合わせる）
目安の時間については下記を参照してください。

注）「切」にすると、ON／OFFモードとなりお出迎えモードになりません。

＊お出迎え点灯が終わる時間は、地域やその日の天候などにより多少（約１時間程度）の違いがあります。

<時刻は目安です>

ツマミの位置	A	B	C	D
お出迎え点灯終了時間	20:00頃	22:30頃	0:00頃	翌3:00頃

・ツマミの設定を途中で変更された場合、お出迎え点灯が終わる時間は翌日から正常に動作します。

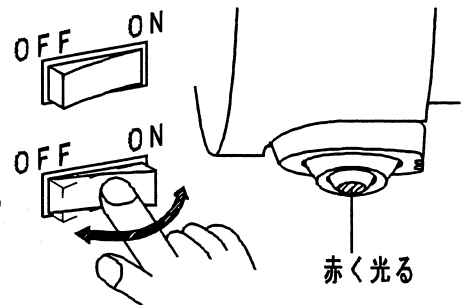
連続点灯モードで使用する時

モードの説明については「この器具の使いかた」（P１）をご覧ください。

●壁スイッチで切り替えます。

１　ONの状態から

２　すばやく（約２秒以内）
　　OFF→ONにすると連続点灯モードになります。

注）連続点灯モードになると検知部が赤く光ります。

連続点灯をやめたいときは、もう一度壁スイッチをOFF→ONにしてください。

■　定格

品　番	使用電圧	周波数	消費電力	ランプ電力	使　用　ラ　ン　プ
LYQ33	AC100V	50Hz	17.5W（待機電力0.6W）	13W	13Wツインパラレル蛍光灯・FML13EX−L
LYQ34		60Hz			

修理を依頼される前に

●センサ検知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。
●正常に戻らない場合は、壁スイッチをＯＦＦにして（５秒以上）再びＯＮにしてください。

現　象	考えられる原因	処　置
検知範囲に人がいるのに点灯しない ＯＮ／ＯＦＦモード お出迎えモード でお使いの場合	壁スイッチがＯＦＦになっている	壁スイッチをＯＮにする
	ランプが切れている	ランプを交換する（Ｐ８参照）
	明るさセンサツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	明るさセンサツマミを「明るめ」側（右方向）に少しまわす（Ｐ３、４参照）
	人が静止している	静止している人は検知できません
検知範囲が狭い ＯＮ／ＯＦＦモード お出迎えモード でお使いの場合	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する（検知部を動かす）（Ｐ２参照）
	検知部がよごれていたり蒸気などの水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないようふきとる
	器具に向かって真っすぐ接近している	検知部を少し傾けて使用する（器具に向かってまっすぐに接近した場合はより近づかないと検知しない場合があります）
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合検知しにくいことがあります（正常動作）
	雨の日に傘で顔や手が隠れている	
	暑い日などに周囲温度と人体の温度差がすくない	
検知範囲に人がいないのに点灯している ＯＮ／ＯＦＦモード お出迎えモード でお使いの場合	検知範囲内に人以外の熱源がある （例）白熱灯照明器具 エアコンの吹き出し口 風などでよく揺れるもの（植木、旗など） 車の熱やヘッドライト 犬や猫などの動物 強い風、雨、雷	本センサは温度変化を検知するため左記の要因で検知範囲内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります（正常動作）
	お出迎え点灯中である	お出迎え点灯中は人のいる、いないにかかわらず点灯状態となります（１００％の明るさ）
	壁スイッチをＯＮにした直後又は停電が回復した直後	約３０秒後一旦消灯することを確認する（正常動作）
	連続点灯モードになっている（検知部が赤く点灯している）	壁スイッチをＯＦＦ→ＯＮにする

現　象	考えられる原因	処　置
人がいなくなってもなかなか消灯しない ON／OFFモード お出迎えモード でお使いの場合	点灯保持時間が長く設定されている	点灯保持時間ツマミを左に回し時間設定を変更する（P３，４参照）
	連続点灯モードになっている（検知部が赤く点灯している）	壁スイッチを一度OFFして再びONにする
周囲が暗くなってもお出迎え点灯しない（消灯状態である） お出迎えモード でお使いの場合	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	ランプが切れている	ランプを交換する（P８参照）
	お出迎え時間ツマミが「切」になっている	お出迎え時間ツマミを「～夜まで」又は「～深夜まで」に合わせる（P５参照）
	人、車の通りの多い道に面した場所に器具が設置されており、検知状態が続いている	検知部を動かして検知範囲を狭くする（検知状態が続くとお出迎え点灯になる時刻が遅くなります）（正常動作）
	器具の設置場所が明るい	器具の設置場所を明るくしている原因を取り除く
	周囲が暗くなったばかりである	本センサは周囲が暗い状態が約５分間続いたときにお出迎え点灯を開始します（正常動作）
周囲が明るいのにお出迎え点灯している お出迎えモード でお使いの場合	明るさセンサツマミが「明るめ」になっている	明るさセンサツマミを「暗め」側（左方向）に回す（P４参照）
	器具の設置場所が暗い（昼間でも暗い）	正常に動作しませんのでお出迎え時間調整ツマミを「切」にしてON／OFFモードでご使用ください
	なんらかの要因により周囲が暗い状態が約５分間続いてしまった	壁スイッチを一旦OFFにし（５秒以上）再びONにする
お出迎え点灯の終わる時間が設定より早い お出迎えモード でお使いの場合	天候などで周囲が暗くなる時刻が通常よりはやかった	商品の性能上お出迎え点灯の終了時間がばらつくことがあります。
	明るさセンサツマミが「明るめ」に設定されている	明るさセンサツマミを「暗め」側（左方向）に回す（P４参照）
	壁スイッチの操作を行った	お出迎えモードでご使用の際は壁スイッチはONにしたままご使用ください。途中で壁スイッチの操作を行うと、お出迎え点灯の終了時間が設定より早くなったり遅くなったりします。
お出迎え点灯の終わる時間が設定より遅い お出迎えモード でお使いの場合	壁スイッチの操作を行った	（同上）
	天候などで周囲が暗くなる時刻が通常より遅かった	商品の性能上お出迎え点灯の終了時間がばらつくことがあります。

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店、別紙ご相談センターにご相談ください。

ランプ交換について

⚠注意　ランプ交換の際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となります。

・ランプは器具表示のナショナルランプをお求めください。
　間違った種類・ワット数のランプを使用すると、火災の原因となります。

・点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。
　ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。

ランプ交換方法

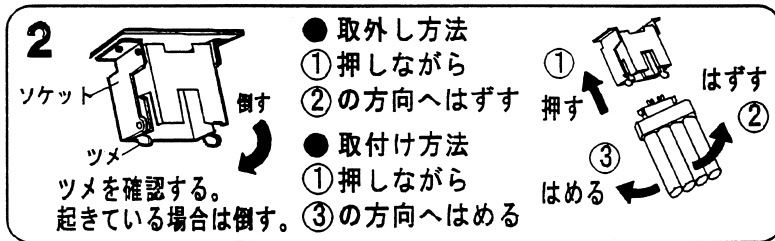
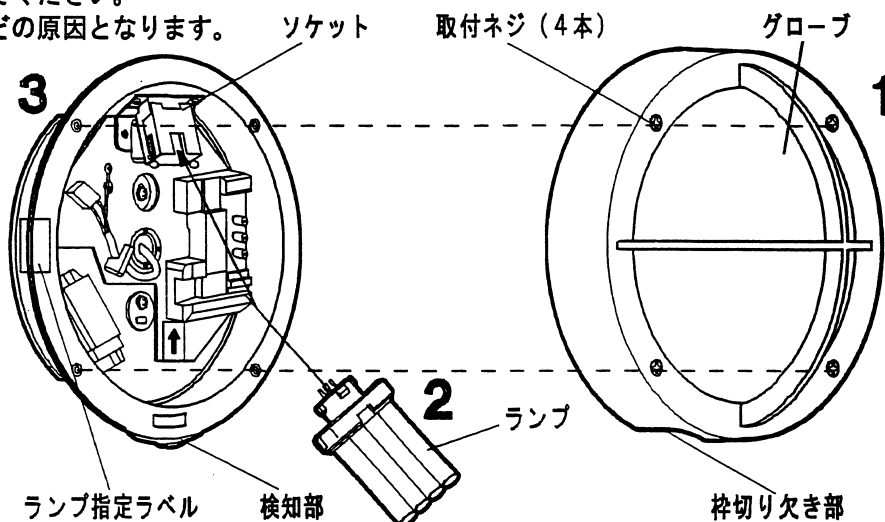
1 グローブを片手で支えながら，
取付ネジ４本をゆるめ
グローブをはずす

グローブを支えていないと、
落下によるけがの原因となります。

2 **ランプを交換する**

3 グローブを片手で支えながら，
枠切り欠き部を検知部に合わせ、
付属の取付ネジ４本で
グローブを取付ける

グローブを支えていないと、落下による
けがの原因となります。

取付けが不完全な場合、感電・
落下によるけがの原因となります。

お手入れについて

⚠注意　お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となります。

・明るく安全に使用していただくため、定期的（６ヶ月に１回程度）に清掃、点検してください。
　汚れがひどい場合は、石けん水にひたした柔らかい布をよく絞ってふきとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

・検知部が汚れますと，センサの感度が鈍くなります．定期的に（６ヵ月に１回程度）柔らかい布で清掃してください

・シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
　変色・破損・劣化の原因となります。

東洋エクステリア株式会社

取説コード
UZ004
199901A